

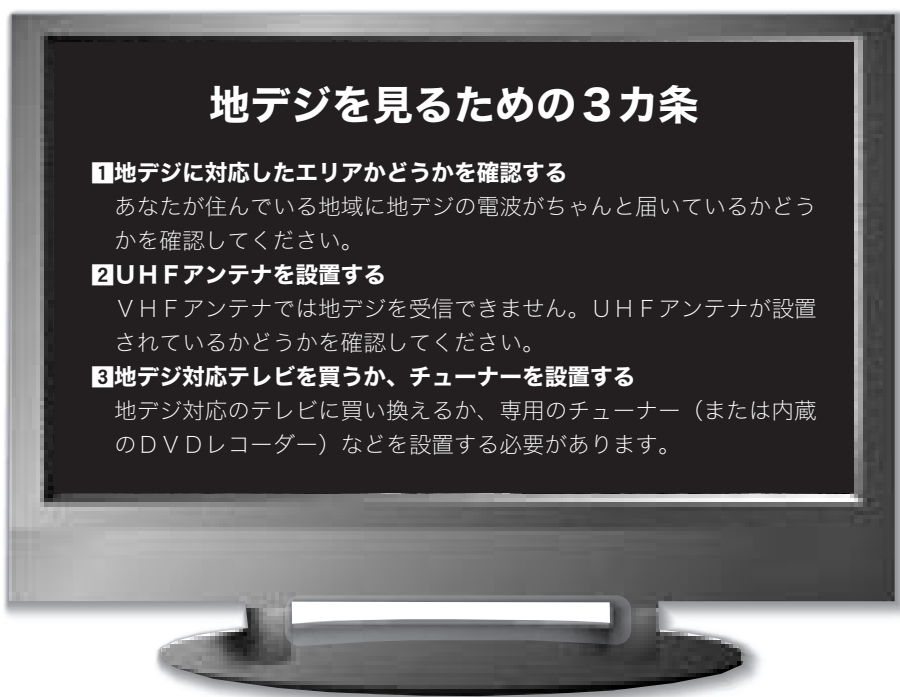
# 地デジの魅力

テレビが迎える新時代  
さまざまな可能性を秘めた革新的なできごと  
アナログにはない魅力が満載です

# 地デジを見るために



じゃあ、実際に「地デジ」を見るためには何をすればいいのでしょうか  
具体的には次の3つの点を確認する必要があります



## 地デジを見るための3カ条

- 1 地デジに対応したエリアかどうかを確認する**  
あなたが住んでいる地域に地デジの電波がちゃんと届いているかどうかを確認してください。
- 2 UHFアンテナを設置する**  
VHFアンテナでは地デジを受信できません。UHFアンテナが設置されているかどうかを確認してください。
- 3 地デジ対応テレビを買うか、チューナーを設置する**  
地デジ対応のテレビに買い換えるか、専用のチューナー（または内蔵のDVDレコーダー）などを設置する必要があります。

地デジ対応のテレビ、または受信用のチューナーが必要になります。なぜ、このようなものが必要なのかといえば「UHF

「本町の中継局では、以前からUHF波を発信しているため、町内では、アンテナの交換が必要になる世帯はほとんどないと思われます」と担当課では説明しています。

## 3 地デジ対応テレビを買うか、チューナーを設置する

「地デジについて、何をしたらいいのかわからない」という人も多いことでしょう。そういった場合には、販売店や電器店に相談するのが安心です。ただし最近では、アンテナ設置などの業者になりすまし、高額な請求をする「悪質販売」の例も報告されているため注意が必要です。できるだけ信頼できる販売店に相談してください。

## ※注意してください 訪問などの悪質商法

魅力あふれるデジタル放送の世界に突入したテレビ新時代。しかし地デジを見るためにはUHFアンテナの設置やテレビの買い換え（または受信用チューナーの設置）など、いくつかの条件があります。どれか一つでも満たしていない項目があると、地デジは視聴できません。

## 1 対応エリアの確認

地デジ放送の電波が届いていることが最低条件です。デジタルの電波はアナログの電波に比べて直進性が強く、障害物があると遮断されてしまう場合があります。この原因によって地デジ放送が見られない地域を「新

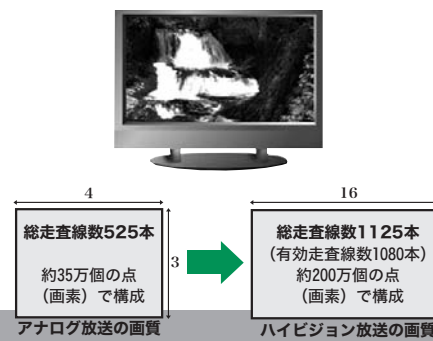
たな難視聴地域」といいます。本町内にも一部では「新たな難視聴」に該当する地域があります。現在、その解消に努めています（11ページ）。

## 2 UHFアンテナの設置

地デジ放送を受信するためにはUHFアンテナが必要です。VHFなどのアンテナでは見ることができません。今のテレビに使っているアンテナがUHFアンテナでなければ買い換える必要があります。アンテナの設置は素人では難しいので、電器店などにお願する場合はほとんどです。またUHFアンテナであっても、角度や方向の調整が必要になる場合もあるため、その確認が必要です。

アンテナで受信したデータをテレビに表示させる「ためです」。この地デジ対応のテレビに換えるためには、当然のことながら費用がかかります。価格は機種によって異なりますが、発売当初に比べるとかなり安価になってきました。地デジ用のチューナーは、地デジ対応テレビに搭載されている「受信装置」の役割を果たします。このチューナーを今まで使っていたテレビに取り付けると、地デジ対応テレビと同じ働きをしてくれます。チューナーがDVDレコーダーに内蔵されているタイプもあります。テレビを買い換えるよりも安価で済みます。

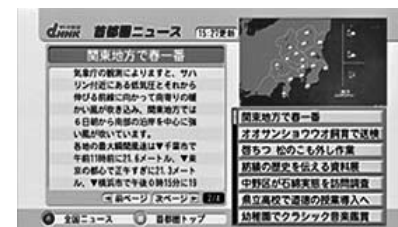
## 迫力ある画面と高画質が楽しめます



魅力その1

16:9のワイド画面とハイビジョンの高画質により、その場にいるかのような臨場感と迫力を楽しむことができます。またデジタル放送では、ゴーストのない鮮明な画像を楽しめます。横長の画面（横と縦の比率16:9）は、人間の視野にあった見やすいサイズです。

## 暮らしに役立つ情報を入手しやすく



魅力その2

リモコンのボタンを押すだけでいつでもニュースや天気予報、スポーツの結果、株価などさまざまな暮らしに役立つ情報をチェックできます。放送中の番組と連動したもので、スポーツ中継なら各選手のプロフィール、音楽番組なら曲目リストなどを見たいときに呼び出せます。

## 画面上の番組表で簡単検索・予約



魅力その3

当日から1週間先までの番組予定が画面上で見ることができます。録画する時も、リモコンでテレビ上の番組表から見たい番組を選んでセットするだけの簡単操作。また放送時刻に変更があった場合は、自動で更新してくれるすぐれものとなっています。

## 字幕や音声など使う人に優しい機能



魅力その4

受信機の標準機能として字幕放送を楽しむことができます。番組によっては生放送も字幕付きで楽しめるものもあります。このほかにも、ドラマなどの筋書きを音声で紹介する解説放送を楽しめたり、受信機によってはゆっくりとした音声で聞くこともできます。

## 「見る」から「使う」へ。双方向サービス



魅力その5

テレビに電話線やインターネットを接続することで、「双方向サービス」を楽しむことができます。リモコン一つでクイズ番組に解答したり、さまざまなアンケートに答えたりと、わが家にいながらにして視聴者参加型の番組に参加することができます。